

《東武博物館主催》
向島文化サロンご案内

東京の 街の 歩き方

昭和二十年代半ばから四十年代にかけて
大ブームとなった野田宇太郎の「東京文学散歩」。
最近刊行した「東京文学散歩を歩く」(ちくま新書)の
ささやかな宣伝も兼ねて、
今回はその中から目玉部分をピックアップし、
それを「東京の街の歩き方」という観点から
捉え直してお話します。
地図や写真の助けも借りて、
臨場感あふれるお話を目指しています。

第1回

地元の人とつながる

2023年12月17日(日) 午後2時～3時30分

この回は、番町→横寺町コースを主に紹介します。野田の「東京文学散歩」はさまざまな特徴が満載ですが、そのなかでも目立つもののひとつが、地元の人とのコミュニケーションなのです。道を尋ねたり、遺族や関係者に思い出を聞いたりとか、それらの積み重ねが文学散歩をどんどん面白いものにしていくのは驚くばかりです。天性の聞き上手、話し上手であるだけでなく、そもそも野田の包容力ある人柄がそれを可能にしているのです。

第2回

昔ながらの道を探す

2024年1月21日(日) 午後2時～3時30分

この回は、高輪→芝コースを主に紹介します。東京の街は当然ながらどんどん変わってしまいましたが、その一方では変わらぬものも少なからずあります。お寺・神社、大木、狭い道やくねくね道、などです。今回はその中でも「昔ながらの道」に注目し、かつて島崎藤村が北村透谷を訪ねる時に通った品川駅近くの道をご紹介します。実はこの道を野田は別の道と取り違えているのです。弘法も筆の誤りの実例紹介です。

講師



ふじい ひでただ
藤井淑禎

立教大学名誉教授。専門は、近代日本文学文化、戦後大衆文化、ミステリーなど。主著は、「小説の考古学へ」「清張 闘う作家」「清張ミステリーと昭和三十年代」「高度成長期に愛された本たち」「名作がくれた勇氣」「純愛の精神誌」「望郷歌謡曲考」「御三家歌謡映画の黄金時代」「漱石紀行文集」「90年代テレビドラマ講義」「乱歩とモダン東京」「水上勉一文学・思想・人生」「東京文学散歩を歩く」など。

【場 所】東武博物館ホール

東武スカイツリーライン 東向島駅下車
※詳しくは裏面をご覧ください。

【定 員】110名(応募多数の場合は抽選)

【参加費】無料

【応募条件】第1回・第2回の講演は2回1セットの応募
(個別の応募はできません)

【主 催】東武博物館

参加費無料

【応募方法】ハガキとインターネットによる2通りの応募が可能です。

ハガキの場合 ▶ 裏面に「講演会タイトル」を明記の上、お客様の氏名(フリガナ)、年齢、郵便番号、住所、電話番号をご記入いただき、ご郵送ください。

インターネットの場合 ▶ 東武友の会のホームページ(www.tobu-tomonokai.co.jp)にアクセスの上、「向島文化サロン」のバナーをクリック。
上記同様の必要事項をご入力の上、送信してください。

【宛 先】〒171-8512 東京都豊島区西池袋1-1-25 東武友の会「向島文化サロン」T係

※一度に複数名のご応募はできません。
(複数名が記入されたハガキは無効となります。)
1回の応募で1名様のみ有効となります。

締 切 2023年11月15日(水) 必着 ※当選者には約1週間を目途に、当選ハガキ(入場券)を発送させていただきます。

【お問合せ】 東武友の会 TEL.03-5951-5248 www.tobu-tomonokai.co.jp

※講演のテーマ内容は変更になる場合もございますので、ご了承ください。 ※ご応募いただきました方の個人情報は、当選ハガキ発送以外の目的で使用することはありません。